

丸太の家だより

平成24年

3月号

1月14日～2月5日

平成こども塾

1月14日(土)「里山野あそび隊～焚き火術～」



焚き火術を習っています

今回の里山野あそび隊は焚き火術を学びました。素材を自分で選び、アクリトレイの上で灰になるまで燃やしたり、マッチを擦るのが怖かったり、太いマキがなかなか燃えなかったりしましたが全員が課題を達成して、野あそびの達人にまた近づきました。

*自分で木を組んで、落ち葉や木などを組み合わせてるのが難しかった。火をつける時も場所によつて燃え方が違うことも学んだ。(小6)

*火の取り扱いや火について学ぶことができて良かった。(大人)

1月15日(日)「生きものつながりクラフトクラブ～新年のドリームキャッチャー～」



第五回目の生きものつながりクラフトクラブは、アメリカネイティブインディアンの作る「ドリームキャッチャー」を作りました。

*フィイルドで宝探しをして、小石や羽根、木の実はなど気になったものを集めて、ツルのフレームに織り込みました。完成度の高いすばらしい作品となりました。ちなみに「ドリームキャッチャー」とは、眠っている子どもを悪魔から守ってくれる魔よけのお守りのことです。

*石にはちゃんと意味があることを知りました。(小2)

*ひもを編むのとグルーガンで飾り付けるのがとても楽しかった。(小6)

*何気なく落ちていたものでも、一つの作品になると素敵なものになるのでビックリした。(大人)

1月22日(日)「日本伝統の踊りを体験しよう！」

日本舞踊 西川流 西川まさ子氏を講師に 礼儀作法や日本伝統の踊りを学びました。踊るのは楽しく、日本舞踊の基本や道具についても知ることができて大満足の一日となりました。



*一番びっくりしたのは踊りです。ぼうの手のようにだと思っていたが、なめらかですっきりとした感じの日本舞踊が好きになりました。(小4)



1月22日(日)「羽子板をつくってみんなで遊ぼう」

羽子板とはねを作りました。やすりで板を削り自分たちでデザインした絵を羽子板に描きオリジナルの羽子板を完成させました。最後にみんなで羽つきをして遊びました。

*羽子板に絵を描いたのがすごく楽しかった。私はこまの絵を描きました。(小1)



羽を作っています



1月28日(土)「介助犬ってなに？」



社会福祉法人日本介助犬協会と連携して、小学校高学年と中学生を対象にプログラムを実施しました。こども塾でデモンストレーションをした後、介助犬総合訓練センターに移動し、施設見学のと実際に犬に指示を出して仕事をしてもらい、犬とのコミュニケーションの方法を学びました。

参加者の皆さんはとても意欲的で、介助犬を通して福祉について理解を深めた一日となりました。
 *介助犬は体の不自由な人に必要だということを知った。(小4)
 *実際に介助犬に指示を出したのが楽しかった。将来シンシアの丘で働きたい。(小2)

2月4日(土)「冬の野鳥観察」

野鳥の会の佐久間先生他三名を講師に迎え、長久手の野鳥を探索しました。今回はノスリ、ハイタカなど猛禽類と合わせて二十一種の野鳥を観察できました。鳥の生態や名前の由来なども教えていただき、充実した時間でした。
 *アオサギは意外と飛ぶが遅かった。(小2)



*スコープではっきりと見ることができ、細かな部分も見られたことと、鳴き声が結びついて子どもにもよく理解できた。(大人)

2月5日(日)「アンティーク花かごづくり」

竹の緑色の表皮の部分の材料を使って、花かごづくりをしました。格子状に編み込み作っていくのは難しく、親子で協力して作りました。仕上げにアンティーク感を出すため、白や茶色のスプレーで色付け



し、素敵な花かごができました。
 *竹を編むところが難しかった。(小4)
 *ただの竹の棒がみるみる花かごになって、塗装するのとアンティークな様子にできたので楽しかった。(小6)
 *子どもと協力しないと作れないものだったのでとても楽しかった。(大人)



体験発表会について相談しています

2月のこどもファーム 毎週土曜日

「体験発表会の準備」

二月二十五(土)に行われる体験発表会に向けて、準備をしました。一年間こどもファームで活動してきた中で一番心に残ったことを新聞の記事にして発表します。一人でチャレンジして作成する子、グループで協力して作成する子と様々ですが、思い思いのテーマを決めて、新聞や丸太の家だよりを参考に熱心に作成しました。素敵な発表会になることが期待されます。